



木の苗を植え始めたのは、
昭和46年のこと。「郷土の森をつくろう」…

全国の製鉄所で、近隣の人々とともに、その土地の
植生に合った樹木を育てました。それから37年を経て、
製鉄所は豊かな森に。そしていまでは、地域ぐるみの
資源リサイクルの拠点にもなっています。
新日鉄ではゼロエミッションに取り組むのはもちろん、
国内の容器包装プラスチックの約30%や廃タイヤの
約10%を受け入れ、化学原料などに再資源化。
さらに、資源利用が難しい自動車シュレッダーダスト等も
受け入れて有効利用に取り組んでいます。

鉄鋼業は、環境先進業でありたい。
これからも、地域と一体となって
エコロジーの輪をひろげていきます。

いま、
森の中の
製鉄所で



先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp